

- (1) 出展社名 (株式会社 UL Japan)
(2) 会場名 (A) 会場
(3) 発表時間帯 (5月17日(木) 11:45~12:15)
(4) タイトル

化審法製造輸入数量報告の留意点とシステム対応

(5) サマリー

多くの企業が化審法に基づく製造数量等の届出を行う為に多大なり
ソースを費しています。

社内中間体は本届出の対象外、製造物質中に含まれる 10%未満の不純
物及び輸入した混合物中の 10%未満の成分は報告対象外であるなど、
ルールは複雑です。本セミナーでは届出書を作成する際の留意点と
システム対応について解説致します。

=====

【名 称】化学物質管理ミーティング 2018
~Chemical Substance Management Meeting 2018~
【会 期】2018年5月17日(木)・18日(金)の2日間
【時 間】9:00~17:00
【会 場】パシフィコ横浜 ホールD (横浜市西区みなとみらい1-1-1)
【参加費】事前登録者・案内状持参者：無料(当日参加者：有料1,000円(税込))
【主 催】株式会社化学工業日報社
【後 援】経済産業省、厚生労働省、環境省、神奈川県、横浜市、川崎市、
一般社団法人産業環境管理協会、独立行政法人製品評価技術基盤機構、
中央労働災害防止協会、一般社団法人日本化学工業協会、
一般社団法人日本化学品輸出入協会、一般社団法人日本化学物質安全・情報センター、
公益社団法人日本作業環境測定協会、一般社団法人日本試薬協会 (50音順)